

聖書日課 『からし種』 2025.8.10~8.17

<p>8月10日 (日) コロサイ 1章</p>	<p>「揺るぐことなく信仰に踏みとどまり、あなたがたが聞いた福音の希望から離れてはなりません」(23節)。「福音の希望」こそ、パウロが一番伝えたかったこと。「福音の希望」とは、父なる神が私たちを闇の力から救い出し、愛する御子の支配下にすでに移してくださったという事実(13節)。今日から始まる一週間、この「福音の希望」を胸に歩んでいこう。</p>
<p>11日 (月) コロサイ 2章</p>	<p>「あなたがたは、主キリスト・イエスを受け入れたのですから、キリストに結ばれて歩みなさい」(6節)。「キリストに結ばれて」とは、わたしの言葉や行動がキリストに押し出され、キリストを目指すものであること。わたしの「こうしたい」ではなく、「イエス様ならどうするだろうか？ どう祈られるだろうか？」を思いめぐらしながら歩むこと。主よ、今日共に歩ませてください。</p>
<p>12日 (火) コロサイ 3章</p>	<p>「キリストの言葉があなたがたの内に豊かに宿るようにしなさい。知恵を尽くして互いに教え、諭し合い、詩編と賛歌と霊的な歌により、感謝して心から神をほめたたえなさい」(16節)。教会の交わりを通して教えられたり、諭されたり、一緒に賛美することで、私たちの信仰は大きな励ましを受ける。教会の交わりの中心にいつもキリストの言葉がありますように。</p>
<p>13日 (水) コロサイ 4章</p>	<p>「わたしたちのためにも祈ってください。神が御言葉のために門を開いてくださり、わたしたちがキリストの秘められた計画を語るができるように」(3節)。キリストにある喜びや励ましや希望を、今日だれかに伝えたり、分かち合えたらと願う。一人では難しくても、祈ってもらえることで開かれる門がある。祈りの励ましをお互いに届けることができますように。</p>

メール配信登録メール senfkorn.obc@gmail.com

大井バプテスト教会

メール配信希望の方は名前とアドレスを明記の上、上記のアドレスまで

聖書日課 『からし種』 2025.8.10~8.17

<p>14日 (木)</p> <p>I テサロ ニケ 1章</p>	<p>「わたしたちは…いつも神に感謝しています。あなたがたが信仰によって働き、愛のために労苦し、また、わたしたちの主イエス・キリストに対する、希望を持って忍耐していることを」(2-3節)。一人の信仰者の闘いは、誰かの信仰に必ずつながっていく。「信じて働き、愛して労し、望んで耐える」。どんな小さな種に見えても、キリストの祈りを込めていきたい。</p>
<p>15日 (金)</p> <p>I テサロ ニケ 2章</p>	<p>「事実、それは神の言葉であり、また、信じているあなたがたの中に現に働いているものです」(13節)。「パウロが語る福音は人の言葉か神の言葉か」と厳しい批判を向けられる中で、パウロは「激しい苦闘」(2節)を通して伝えられる福音の確かさを語った。真実の神の言葉は苦闘の中にこそ働く。苦闘を通して伝えられていく真実の神の言葉を信頼していこう。</p>
<p>16日 (土)</p> <p>I テサロ ニケ 3章</p>	<p>「あなたがたが主にしっかりと結ばれているなら、今、わたしたちは生きていけると言えるからです」(8節)。パウロの心の中には、テサロニケをはじめさまざまな教会の友の顔が生き生きと思い出されていたことだろう。いとおしく思い、心配し、落胆し、今すぐにも飛んで行って顔と顔を合わせて語りたい。そんなアツアツのパウロの言葉に私たちも生かされたい。</p>
<p>17日 (日)</p> <p>I テサロ ニケ 4章</p>	<p>「このようにして、わたしたちはいつまでも主と共にいることとなります。ですから、今述べた言葉によって励まし合いなさい」(17-18節)。いつかラツパが鳴り響き、主が天から降って来られ、死んだ仲間とわたしたちが一緒に引き上げられる(16-17節)…迫害のひどい苦しみ(1:6, 2:14)の中で、この希望を握りしめて忍耐したテサロニケの信徒たちを思う。</p>